

2017年1月9日

## 江夏の半分の地域で「農業大公園」を建設予定

このほど、武漢市江夏区は国家公園の基準で、南部に全域 1000 平方キロメートルの「農業大公園」を建設することを決定した。

管轄区の半分の面積を使って集中的に農業生態の改良、グレードアップを行うのは、湖北省で初となる。

江夏区は武漢市の南に位置し、敷地面積が 2018 平方キロメートルで、武漢市が建設を企画している南部のニュータウンである。2013 年、江夏は区の全域計画を完成させた。北部は現代製造業、知能化産業などの工業園となり、南部は生態制御区で、農業などの生態産業が発展している。



2017年1月12日

## 2016年武漢経済開発区で134万台の車を生産

10日、武漢経済技術開発区（漢南区）の発表によると、2016年に当区では乗用車134.3万台を生産、135.2万台を販売しており、それぞれ前年比13.8%、11.4%増となった。年間生産販売量の増加幅は全国の平均レベルよりやや低い。

武漢経済技術開発区には、シトロエン公司、東風本田、東風乗用車、東風ルノーなどの自動車企業及び大量の部品生産メーカーが集まっており、車及び車部品の年間生産高は約2,300億元である。2016年、東風本田と東風乗用車は、優れた業績を残しており、生産販売量は40%以上増加した。東風ルノーは操業を開始してまだ1年間未満であるが、販売量は3万台を突破した。シトロエン龍公司は下げ幅が比較的に大きく、年間販売量が71万台から60万台に下がった。